

令和2年度 とよかわ市民協働推進計画実施施策評価結果

【評価結果一覧】

方針名	施策名	委員会評価
市民活動に関する情報収集・提供	紙媒体による情報提供の充実	4
	インターネットなどの効果的な活用	4
人材育成と協働意識の醸成	担い手の育成と活用	4
	協働意識の醸成	4
市民活動団体の支援	活動拠点の充実	4
	財政的支援などの充実	4
	人的支援の充実	4
市民協働推進の仕組みづくり	推進・連携体制の整備	4
	協働事業の評価・公表	4

※委員会評価の点数は、裏面にある5点満点評価の数値を使い配点をしています。

【委員会意見】

総合評価については、9施策すべてが4点であり、具体策の目的達成度や効果は計画どおりであると評価します。

基本方針1「市民活動に関する情報収集・提供」の実実施策1「紙媒体による情報提供の充実」においては、小学生向け町内会活動啓発冊子を使用した出前講座の実施を昨年度の2校から8校へと実績を増やすことができ、大きな成果であると評価します。また、市民活動情報に関する企業紙への掲載について、昨年度よりも掲載件数が増えたことで、新たな層に情報を発信できています。引き続き、企業紙の調査等を行い、紙媒体の情報提供の充実を期待します。

実施策2「インターネットなどの効果的な活用」においては、市民活動広報リポーター登録制度において、登録者数と原稿提出回数とともに増加しており、提出された原稿を、とよかわボランティア・市民活動センタープリオのTwitterやFacebookなどのSNSで発信することで、市民活動やボランティアの情報が広く発信できていることを評価します。また、情報を必要としている市民に、市民ボランティア情報提供システムを活用し、メール配信によってボランティア募集情報やイベント情報を提供し、活動に参加するきっかけづくりができています。今後は、市民ボランティアの登録者数や、TwitterやFacebookなどのSNSのフォロワー数を増やし、インターネットやSNSの利用について広く周知していくことを期待します。

基本方針2「人材育成と協働意識の醸成」の実実施策1「担い手の育成と活用」においては、各課で養成講座を開催することで、組織のリーダーが養成され、市民活動の輪が少しずつ広がっていることを評価します。また、若者ボランティア体験講座の体験事業数を増やしたことで、活動する選択肢が増え幅広く活動することができたと思います。一方で、今後、受講者が体験したことを活用できるよう、フォローアップ講座の受講者数を増やしたり、継続して活動に関心を持ってもらえるような工夫を検討する必要があります。

実施策2「協働意識の醸成」においては、協働に興味・関心を持つ契機となる「協働ガ

イド」の配布により、多くの市民への協働の普及・啓発に繋がったことや、企業向けボランティア出前講座の実施企業が増えたことを評価します。今後は、更なる協働の普及・啓発に向け、企業の社会貢献活動への意識向上の働きかけを強化していくことを期待します。

基本方針3「市民活動団体の支援」の実施策1「活動拠点の充実」においては、会館施設等使用料減免制度によって、活動場所の提供ができており、市民活動団体が活動しやすい環境を整えられていることで、ボランティア・市民活動センターの利用者数が増加しています。今後は、空き店舗情報の発信等を強化し、より多くの活動拠点の充実に図り、地域活性化に繋げていくことを期待します。

実施策2「財政的支援などの充実」においては、各種補助金が充実しており、市民協働推進事業補助金については、事業数の増加に繋がっています。今後は、まちづくり活動の強化を図るため、企業の協賛制度について力を注ぎ、市民活動への財政的な支援を充実させるために、企業と市民活動団体とのマッチングを促進していく必要があります。

実施策3「人的支援の充実」においては、スキルアップ講座を開催したことで、受講した市民活動団体の知識・技術の向上を図ったと評価する一方で、参加者が少ない講座については、講座に興味を持ってもらえる方に向けた情報発信が必要です。

基本方針4「市民協働推進の仕組みづくり」においては、市民活動団体や町内会、企業とのマッチングが図れたことや、市民活動団体からの提案による事業推進が行えたことを評価します。

今後も、とよかわ市民協働推進計画を計画的に遂行し、「地域と行政がしっかりと支えているまち」に進んでいくことを期待します。

参考

【評価基準】

評価点	評価基準
5	具体策の目的達成度や効果は非常に良好であり、継続して行うべきである
4	具体策の目的達成度や効果は良好であり、継続して行うべきである
3	具体策の目的達成度や効果は計画どおりであり、継続して行うべきである
2	具体策の目的達成度や効果が少し不十分であり、内容の一部見直しを要する
1	具体策の目的達成度や効果が不十分であり、根本的見直し、または中止を要する

【評価の方法】

評価は、実施策ごとに事業実績報告書と目標指標実績報告書を確認し、目的達成度や効果などを客観的に評価して、次の基準により実施する。